

**さあ、どうする漢方**  
**Z t o A 実践から基礎へ・Season 2**  
(全 26 回シリーズ) ※最終年度  
**2025 年度【第 17 回～第 26 回】のご案内**  
(現地会場および WEB 配信のハイブリッド開催)

平素は「さあ、どうする漢方 Z t o A 実践から基礎へ・Season 2」にご参加いただき誠にありがとうございます。  
2025 年度【第 17 回～第 26 回】のカリキュラムが決定いたしましたので、ご案内いたします。

本年度が最終年度となります。是非多くの先生方にご参加賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、従来通りの系統的な学習の場として、第 7 期 関西系統中医学講座「基礎理論編」「生薬・処方解説編」「生理・病態・治療編」「弁証・症例分析編」の 4 編構成（各編隔月毎、各 10 回、通算 2 年間）を大阪にて開催しております。詳細につきましては、弊社ホームページに掲載のご案内をご参照ください。

**講 師**

仙頭クリニック 院長 仙頭 正四郎 → [ 講師紹介は 2 ページをご覧ください ]

**特 徴**

腰を据えて漢方を学びたい方から漢方薬を即使用したい方までを対象に、本格基礎講座と即戦臨床講座とが融合した講座です。基礎理論、弁証、生理病態、生薬処方の概念を各回取りあげ、包括的な漢方の概念を系統的に修得する全 26 回の連続シリーズです。

同時に、各回の中で、症例のとらえ方から病態や生理の理解に基づいた治療法までが完結した内容を提供して、実践力を鍛えます。

**日 時**

第 17 回	2025 年 4 月 20 日(日)	第 22 回	2025 年 10 月 19 日(日)
第 18 回	2025 年 5 月 18 日(日)	第 23 回	2025 年 12 月 21 日(日)
第 19 回	2025 年 6 月 15 日(日)	第 24 回	2026 年 1 月 18 日(日)
第 20 回	2025 年 7 月 20 日(日)	第 25 回	2026 年 2 月 15 日(日)
第 21 回	2025 年 9 月 21 日(日)	第 26 回	2026 年 3 月 15 日(日)

◆8 月と 11 月は休講です。

※本シリーズの最終回です。

各日 13 : 30～16 : 30

[ 詳細は予定カリキュラム (3 ページ) をご確認ください ]

**現地会場**

飯田橋レインボービル (所在地：東京都新宿区) → [ 詳細は 4 ページへ ]

第 17 回・第 19 回～第 26 回【中会議室(2F)】 定員 60 名

第 18 回【C 会議室(1F)】 定員 60 名

**WEB 配信**

Zoom ウェビナーにて、現地会場での講演をライブ配信

**参加費**

現地会場・WEB 配信共に、各回 3,000 円 (消費税等 10% 272 円込み)

※電子データ (PDF ファイル) 資料代を含みます。

<ご提供資料について>

◆現地会場 : 電子データの他、ご出席時、会場にて紙に印刷した資料も配付いたします。

◆WEB 配信 : 電子データのみのご提供となります。ご了承ください。

→ [ お申し込み方法など詳細は、別紙『講座参加のお申し込みのご案内』をご覧ください。 ]

**主 催**

小太郎漢方製薬株式会社

## 講師紹介

仙頭 正四郎 (せんとう せいしろう)

仙頭クリニック 院長 医学博士

(東京都文京区本郷 3-14-16 美工本郷第 2 ビル 6 階 TEL・FAX : 03-3868-3350)

日本東洋医学会漢方専門医／日本内科学会認定内科医

1957 (昭和 32) 年 高知県生まれ  
1982 (昭和 57) 年 東京医科歯科大学医学部卒業  
1982 ～ 86 年 東京医科歯科大学・大学院 生理学専攻  
1985 ～ 87 年 米国ハーバード大学医学部、解剖・細胞生物学教室研究員  
1987 ～ 89 年 東京医科歯科大学医学部助手 (公衆衛生学・環境生理学)

この間、臨床の場での漢方薬との出会いから東洋医学に興味を持ち、研究者としての生活の傍ら、東洋医学を取り入れた外来診療を实践。1989 (平成元) 年 東洋医学に専念する決意で大学を辞す。

1990 (平成 2) 年 東京・文京区に漢方診療を専門とする仙頭クリニックを開設  
時期を前後して豊島病院 (旧)、日本医科大学 (旧)、東京医科歯科大学、順天堂大学の漢方外来を担当する一方、研究会主催、講演、大学の講義担当など診療と教育に尽力。医療にとどまらず、マスコミ出演、一般向け著書、雑誌コラム、市民講座など、東洋医学の知恵を日常に活かす啓蒙活動にも尽力。

2006 (平成 18) 年 大阪・福島区にクリニックを移転。  
2010 (平成 22) 年 一般財団法人高雄病院京都駅前診療所 所長に就任 (仙頭クリニック閉院)  
2018 (平成 30) 年 東京・文京区本郷に仙頭クリニックを再開 現在に至る。

著書・編著 : 標準東洋医学 [金原出版]  
家庭のできる漢方 2・子どものアトピー [農文協]  
家庭のできる漢方 3・花粉症 [農文協]  
家庭のできる漢方 4・不眠症 [農文協]  
新型コロナウイルス感染症の治療と予防の漢方戦略ーパンデミックから命を守るー [医学と看護社]  
漢方で免疫力をつけるーウイルス対策からウエルエイジングまで [農文協]  
究めるエキシ漢方大全 「ZtoA」実践から基礎へ [金原出版]  
症例でわかる東洋医学 読体術 8 つの体質と漢方薬活用 [農文協]

共著 : 21 世紀の医療への招待 [誠信書房]  
家庭医学事典 [新星出版社]  
こころの仕事 [パルコ出版]  
現代語訳 啓迪集 (けいてきしゅう) [思文閣出版]  
漢方診療二頁の秘訣 [金原出版]  
家庭のできる漢方 1・冷え症 [農文協]

監修 : 最新 カラー図解 東洋医学 基本としくみ [西東社]  
現代の食卓に生かす「食物性味表」ー薬膳ハンドブック (改訂 2 版) [日本中医食養学会]  
「口をばくばくする」と超健康になる : 筒井重行著 [マキノ出版]

## 講座の方針

毎回、目の前におかれた症例を対象に、何はともかく「さあ、どうする？漢方」の視点で、まずは治療と向き合います。しかし、ただ漢方薬を選べばいいという姿勢とは異なり、主訴や症候をどうとらえるのか、それらを元に身体の状態をどう把握するのか、主訴の背景となる生理機能の理解を前提に、その身体の状態がどう主訴とつながるのかの病態認識を意識して、その解決策としての処方を考える姿勢をとることで、Z to A (実践から基礎へ) の道をたどる「縦軸」を構成します。

一方で、基礎理論、弁証、生理・病態、生薬・処方の理解それぞれの内容を、回を追う毎に系統的にステップアップしながら解説し、「横軸」として A to Z (基礎から実践) の道をたどります。関西系統中医学講座では各項目と腰を据えて本格的な向き合い方をしています。それと並行して、本講座では各項目をスポット的に同じ講座日に取りあげることで、また違った身に付け方ができると考えています。

この縦軸、横軸を織りなすことで、東洋医学の基本を身に付けながら、初めて診る症例にも即効性のある漢方治療を提供する腕を磨くことができると期待しています。

## 予定カリキュラム（第17回～第26回）

◎本シリーズの最終年度です。

各日 13：30～16：30 開催

日程		症例(主訴)	基礎理論	弁証	生理・病態	生薬・処方
第17回	2025年4月20日(日)	コロナ後の嗅覚脱失・倦怠	衛気について	効かせる漢方への道①※	ウイルス感染	竜骨・牡蛎の特性
第18回	2025年5月18日(日)	蕁麻疹・下痢	湿熱の概念	効かせる漢方への道②	皮膚疾患のとりえ方	竜胆の特性
第19回	2025年6月15日(日)	経前気分不調・腹部膨満	気滞の病態	効かせる漢方への道③	月経周期と身体	呉茱萸の特性
第20回	2025年7月20日(日)	感染後の熱感・倦怠感	熱証のとりえ方	効かせる漢方への道④	「元気」のあれこれ	瓜呂の特性
第21回	2025年9月21日(日)	月経痛・浮腫	血虚の概念	効かせる漢方への道⑤	腎・泌尿器	桃仁・牡丹皮について
第22回	2025年10月19日(日)	胃もたれ	中焦理気	効かせる漢方への道⑥	逆流性食道炎	白朮・蒼朮の差異
第23回	2025年12月21日(日)	ホットフラッシュ	腎積・奔豚	効かせる漢方への道⑦	更年期のあれこれ	山梔子の特性
第24回	2026年1月18日(日)	脚のつり	筋肉の理解	効かせる漢方への道⑧	筋肉のあれこれ	木通の特性
第25回	2026年2月15日(日)	突発性難聴	津液と臓腑	効かせる漢方への道⑨	耳の特性	細辛の特性
第26回	2026年3月15日(日)	関節痛・筋肉痛	経絡と関節	弁証の「極意」	疼痛のあれこれ	三拗湯について



◎本シリーズの最終回です。

◆8月と11月は休講です。

※『漢方研究』に連載中の「効かせる漢方考」の項目〔効かせる視点〕から、弁証に関連する内容を適宜取りあげて解説します。

\*諸事情から日程・症例・ほか各内容が変更になる場合があります。何卒ご了承ください。

《変更になり次第、弊社ホームページ掲載等にて、順次お知らせいたします。》

## 講座参加のお申し込み方法など

◆原則、Peatix（ピーティックス）でのお申し込みとなります。お支払いは、クレジットカード、コンビニ／ATM 払いのいずれかをご利用いただけます。

\*詳細につきましては、別紙『講座参加のお申し込みのご案内』をご覧ください。

◆Peatix（ピーティックス）のご利用が難しい場合は、FAX、メール等で承ります。その場合、参加費のお支払いは、後日振込となります。

◆やむを得ない事情（天災、交通機関の麻痺、講師の都合など）により講座が開催できなくなった場合は、当該回分のカリキュラムについて、日時を改めて開催するなどの対応をさせていただくことがあります。具体的な対応につきましては、その都度参加申し込みをいただいた先生方に別途ご連絡いたします。予めご了承ください。

## 資料・DVD 販売について

本シリーズにおきましても、資料・DVD を販売いたします。

### ◆資料について

○紙に印刷した資料をお送りいたします。

○お届けは各回開催の約3～4週間後を予定しています。準備の都合上、多少前後することがあります。

※講演開催前の発送は、お引き受けいたしかねます。何卒ご了承ください。

### ◆DVDについて

○約180分のDVD各1枚で、1回の講座（ライブ撮影）となります。

○お届けは各回開催の約1ヶ月後を予定しています。製作の都合で多少前後することがあります。

○ライブ撮影となりますので、画像や照明・音響等の不具合についてはご容赦をお願いいたします。

○事情により講座当日に撮影ができなかった場合は、DVDの販売はいたしませんので予めご了承ください。

○音声のみのCDは販売しておりません。

◆資料・DVDともに、各回ごとのご購入が可能です。

- ・各回、資料1部1,000円（消費税等10% 91円込み）、DVD1枚5,000円（消費税等10% 454円込み）となります。
- ・弊社ホームページまたはFAX（別紙「資料・DVD購入申し込み用紙」にご氏名・ご住所など、必要事項をご記入）にてお申し込みください。

詳細につきましては、次ページの資料・DVD購入方法をご覧ください。

## 資料・DVD 購入方法

◆実施済みの内容は、資料・DVD が購入できます。

資料：各回 1 部 1,000 円（消費税等 10% 91 円込み）、DVD：各回 1 枚 5,000 円（消費税等 10% 454 円込み）、  
購入のお申し込みは、下記①～③のいずれかをご利用ください。

＜資料・DVD 購入の申し込み方法（※講座参加の申し込みとは異なりますのでご注意ください）＞

### ①インターネットでのお申し込み

弊社ホームページ内「資料・DVD 購入申し込み入力フォーム」より、お申し込みください。

※<https://www.kotaro.co.jp/> より、「医療関係者の皆様へ」→「講演会のご案内」をご覧ください。

### ②FAXでのお申し込み

別紙「資料・DVD 購入申し込み用紙」にご氏名・ご住所など必要事項をご記入の上、事務局まで FAX（03-5201-5566）にてお送りください。

### ③E-mail でのお申し込み

申し込み用紙に記載の必要事項を入力し、[ekisukampo@kotaro.co.jp](mailto:ekisukampo@kotaro.co.jp) へお送りください。

\*\*\*\*\*

### ＜代金のお支払いについて＞

**資料・DVD 代金は、後払いとなります。**資料・DVD 送付時に講座専用払込票を同封いたしますので、そちらをご利用ください。銀行口座振込もご利用可能です。詳細につきましては、資料・DVD 送付時にご案内いたします。

※ゆうちょ銀行の料金改定に伴い、現金での払込みの場合、手数料が発生いたします。何卒ご了承ください。

## 会場のご案内

※第 18 回は、会議室が通常と変更になります。ご注意ください。（同ビル内）



### 飯田橋レインボービル

◆第 17 回・第 19 回～第 26 回

中会議室 (2F)

◆第 18 回

C 会議室 (1F)

〒162-0826

東京都新宿区市谷船河原町 11 番地

TEL03-3260-4791

### ＜JR＞

●中央・総武線各駅「飯田橋」駅  
西口から徒歩 6 分

### ＜地下鉄＞

●有楽町線／南北線「飯田橋」駅  
から徒歩 5 分

●東西線／大江戸線「飯田橋」駅  
から徒歩 9 分

（＊地下鉄は B 3 出口）

## エキス漢方 ZtoA 事務局

小太郎漢方製薬（株）東京支店 医専課内 登録番号：T2120001063899

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-6-1（丸柏ビル 1F）

（TEL）03-3231-2340 （FAX）03-5201-5566 （e-mail）[ekisukampo@kotaro.co.jp](mailto:ekisukampo@kotaro.co.jp)